


教育事業「青少年教育指導者等の養成及び資質の向上」

事業名	文部科学省委託事業 教員免許状更新講習 part.2	
実施期	平成 23 年 10 月 8 日 (土)	
担当者	企画指導専門職 長谷川 真由	

I 事業の趣旨

今、学校教育における体験活動は、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの生きる力の基盤、子どもの成長の糧としての役割が期待されている。体験活動とは、自分の身体を通して実地に経験する活動のことであり、子どもたちがいわば身体全体で対象に働きかけ、かかわっていく活動のことである。今後の教育において重視されなければならないのは、ヒト・モノや実社会に実際に触れ、かかわり合う「直接体験」である。

本講習では、自然体験・集団宿泊活動の意義を理解し、その指導法、健康・安全管理等について、主に講義を通してその方法や知識を深め、教員としての資質向上を図る。

II 事業の概要

1 事業の目的

自然体験活動の意義を理解し、活動に伴う安全管理の意識を高めるとともに学校における体験活動の指導法の工夫改善に資するなど、教員の資質向上を図る。

2 参加対象及び募集人員

- ①教諭の普通免許状もしくは特別免許状所持
- ②現職の小学校教諭（中学校及び高等学校教諭も可）
- ③平成 24 年 3 月 31 日が講習修了確認期限の方
又は平成 25 年 3 月 31 日が講習修了確認期限の方
上記の全ての条件を満たす方 25 名程度を募集

3 参加状況

男性 13 名、女性 11 名 合計 24 名

4 実施上の留意事項

- (1) 参加者が講習へ参加しやすいように、選択科目 18 単位のうち 6 単位について、沖縄本島を会場に日帰りの講習とした。
- (2) 実際の動きのある体験学習のエッセンスを取り入れ、魅力ある講習内容とした。

5 活動のようす 10月8日 《開講式》



《石川青少年の家所長挨拶》



《姿勢を正して始めました》

《講義Ⅰ》学校教育における体験活動の意義
講師：名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科
准教授 平野 貴也 氏



《児童生徒の体力低下について》



《しっかりメモを取ります》



《熱のこもった講義に受講者も集中しました》



《体験活動①：輪くぐりに挑戦》



《どうやったら早くなるか相談して》



《体験活動②：4番目の握手の相手は誰？》



《講義Ⅱ・実習》体験活動の安全管理

講師：名城大学人間健康学部スポーツ健康学科
准教授 平野 貴也 氏



《危険を予測し安全対策を講じよう》



《グループ討議：危険箇所の予想》



《代表の発表：具体的な安全対策について》

《講義Ⅲ》学校教育の現状と課題

講師：沖縄県教育庁那覇教育事務所
指導班長 松田 哲哉 氏



《PISA2009 から見える学校教育の問題点》



《グループ討議：各学校の課題とは》

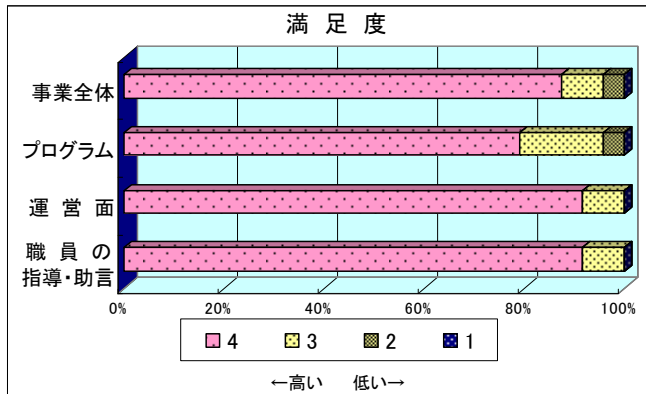
《履修認定試験》



《みなさん真剣です》

6 アンケート結果

(1) 満足度



(2) 参加者の声

〈良かった点〉

- はじめは緊張していましたが、落ち着いて、また体験活動で周囲の先生方とも話しができてリラックスして受講できました。
- 体験活動の大切さと危険に対する意識を持つことができました。学校教育の現状と課題では、今後の自身の授業の改善点を知ることができた。
- 講義やさまざまな実習をとりまぜ、受講者間の交流する機会もいっぱい与えてくれて感謝しています。
- 安全管理では、事故がおきたときのシュミレーションをするなど、安全管理への課題意識を持つことができました。
- 学校現場へすぐに持ち帰れる内容でよかったです。
- 資料もきっちりそろっていたし、とても分かりやすかった。
- 免許状更新講習の中で、体験や交流があり、その場を提供していただいたことは感謝します。充実した1日を過ごすことができました。ありがとうございました。
- 講師お二人とも話が分かりやすく、体験や実践をおりまぜながらよかった。またグループの討論もみなさん、活発で楽しかった。
- パート1・パート2両方に参加したのですが、ちょっと気の重い免許状更新講習を楽しく受講することができました。また小中高とたくさんの校種の先生方と交流することができてよかったです。ぜひ来年も続けてください。
- 静かな環境で研修生が気兼ねなく話し合える雰囲気をつくっていただき、感謝しています。
- 職員の気遣いがうれしかった（飲み物・茶菓子）、ありがとうございました。
- 免許状更新講習の中で、体験や交流があり、その場を提供していただいたことは感謝します。充実した1日を過ごすことができました。ありがとうございました。

〈改善すべき点〉

- ▲当初は「学級経営について」のプログラムもあったような気がしました。午前中のプログラムが午後にあってもよいと思いました。
- ▲「学校教育の現状と課題」において、PISA20

09から見えてくる課題点についてもっと具体的に説明してもらいたかった。また本県の課題についても、もっと具体的な説明がほしい。

▲やはり、小学校中心の講習で、高校教諭の自分としては少々不満でした。

▲「学校教育の現状と課題」はセンターでの研修にもあったからやや不満です。

III 成果と課題

1 事業の成果

- 参加者募集締切り時期を9月中旬にすることで台風等の影響で開講されなかった他講座受講生を受け入れ、研修参加者が増えた。
- 学校の現状と課題では最新の情報提供や具体的な授業実践についての映像があり理解が深まった。体験活動の意義・安全管理では実際の体験活動やグループ討議など動きのある講義となり、受講生間の交流もできた。
- 講師の作成した資料も充実していて参加者の満足度が高かった。

2 今後の課題

参加者である現職教諭は、すぐに実践で使える内容を望んでいるが、その内容をいかに取り入れていくかの検討と、基本的に小学校教諭対象であることの確認が必要である。

また、2泊3日もしくは1泊2日で選択科目の必須単位18単位を取れるようなプログラムの検討が必要である。

IV おわりに

今回、県立石川青少年の家施設を借用しての日帰り事業であり、募集期間をできる限り延長したことで参加者が増え、小・中・高校の異校種の教諭間でたくさんの交流ができた。

また、大勢の児童生徒を預かる学校において、安全管理は非常に重要であり、本講習での危険予知訓練は教員の安全教育への意識向上につながった。

受講者は新しい知識や最新の情報、効果的な教育技法の獲得などを求めている。その期待にこたえられるような講習の組み立てや講師選定などを行い、さらに実のある事業にしていきたい。